

予報期間 10月17日から10月23日まで

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- ・台風第30号については最新の台風予報を参照。
- ・19日は、低気圧が発達しながらオホーツク海へ進み、低気圧からのびる前線が北日本付近を通過する。
- ・20日は、前線が華中から対馬海峡付近、東北南部付近を通過して日本の東にのびる。
- ・21日から22日にかけて、前線が本州付近を通過し、低気圧が発達しながら日本海北部からオホーツク海へ進む。
- ・22日から23日にかけて、高気圧が朝鮮半島付近から日本の東へ移動する。
- ・23日は、前線が本州の南岸付近にのびる。

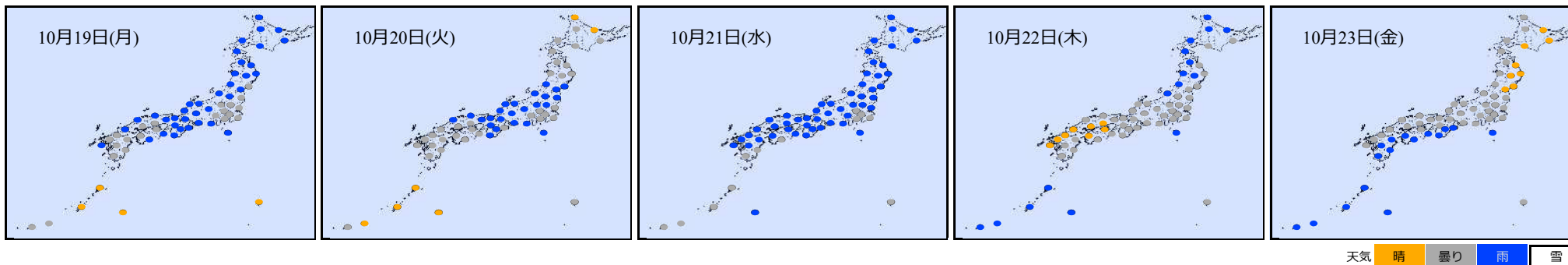
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- ・19日と21日頃は、北日本では発達する低気圧の影響で荒れた天気となり、低気圧の発達程度等によっては大荒れとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

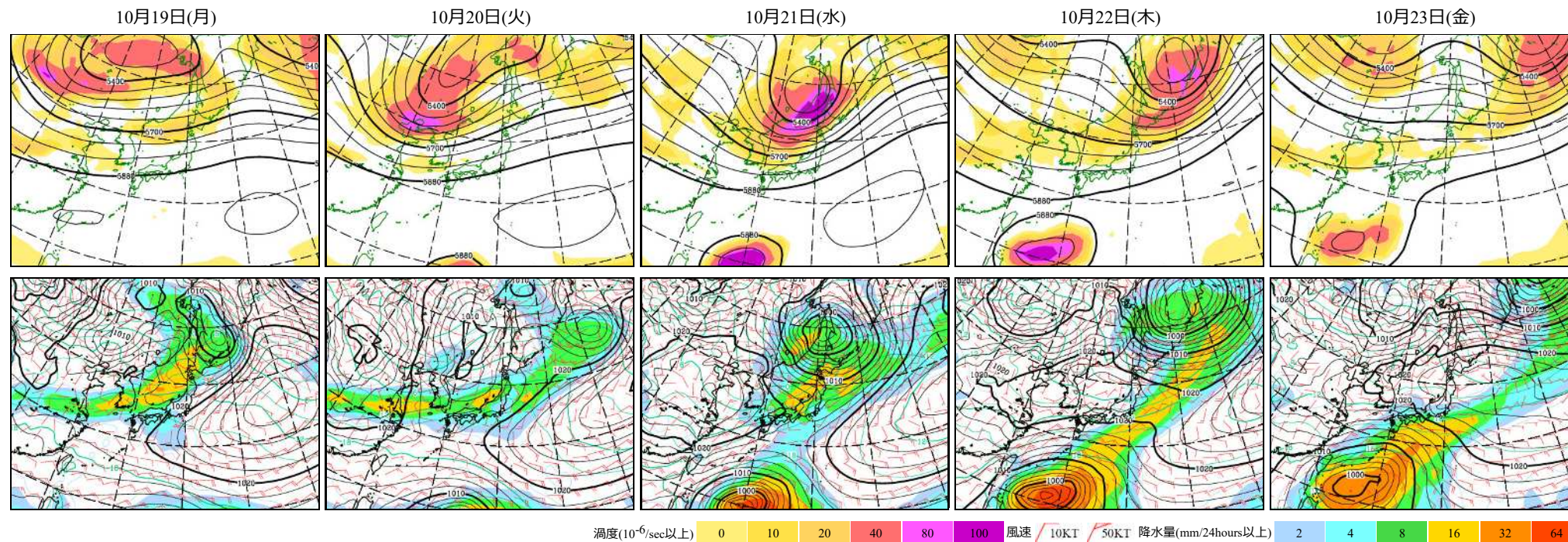
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

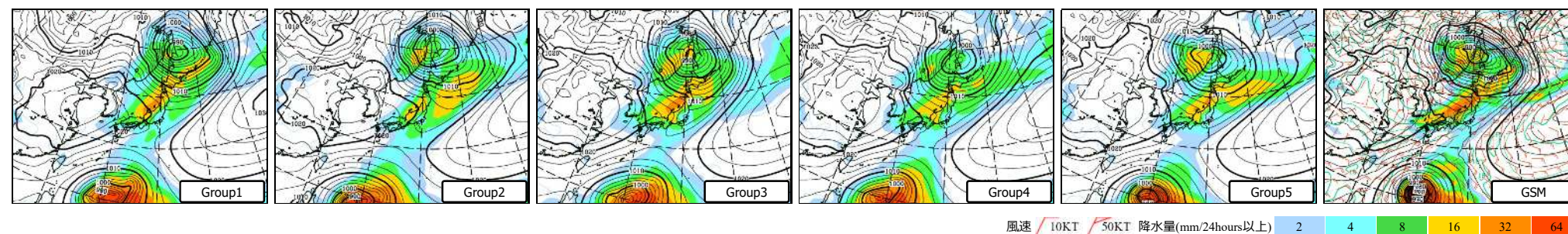


- ・北日本は、曇りや雨の降る日が多いが、20日と23日は晴れる所がある。
- ・東日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- ・西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、22日は晴れる所がある。
- ・沖縄・奄美は、19日から20日は晴れまたは曇りとなるが、21日から23日は曇りや雨となる。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、850hPa気温、前24時間降水量(21時)



◆10月21日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSM予想図 海面気圧、地上風及び850hPa気温(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- ・最新のアンサンブル資料(ENS)は、19日は、西日本付近にのびる前線の南下が不明瞭となった。このため西日本では降水確率ガイダンスの値が小さくなった。21日から22日にかけてオホーツク海に進む低気圧は発達する傾向が強まったが、低気圧の位置等にはモデル間の差が見られる。
- ・スプレッドは期間の終わり頃に大きく、特定高度線のばらつきも大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- ・予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。